Environment 環境

※本社棟とは、(株)トーホー、(株)トーホーフードサービス、(株)トーホーキャッシュアンドキャリー、(株)トーホーストア、(株)トーホービジネスサービス、(株)トーホー・コンストラクション、(株)アスピット、(株)トーホーウイングの本社に属する部署を示します。

環境への配慮
持続可能な社会を目指して

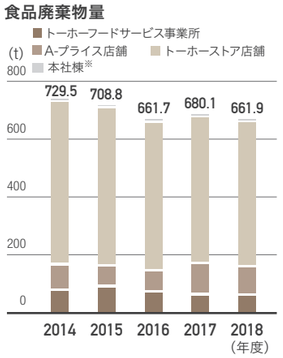
関連するSDGs

廃棄物の減量化・再資源化の促進

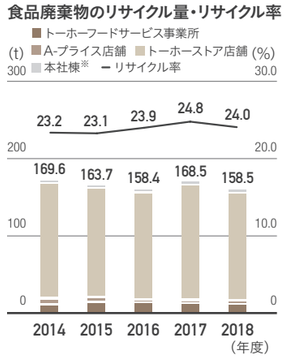
ロス管理の徹底による廃棄物の削減、魚のアラや廃油などの食品リサイクルの推進を行い、食品廃棄物の削減や食品リサイクルをトーホーグループ全体で推進しています。

(株)トーホーフードサービスでは、賞味期限別の在庫を見える化させるシステムを活用した期限管理の徹底(2016年度より強化実施)や食品リサイクルを実施し、2016年度対比で約15%の食品廃棄物の削減を行いました。

食品廃棄物量



食品廃棄物のリサイクル量・リサイクル率



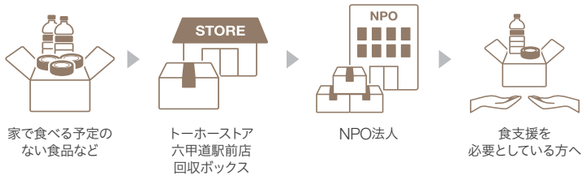
農のゼロエミッション「廃棄物ゼロ」を目指して

(株)トーホーが参画している兵庫楽農生活センター((公社)兵庫みどり公社が管理・運営)では、食品残渣、シイタケの廃菌床や野菜の残渣などを堆肥化させ、農業に活用するゼロエミッションの取組みを行っています。現在、この堆肥を活用し育成した水菜は、かんで野菜として(株)トーホーストアで販売しています。今後もこの堆肥を活用し、ゼロエミッション「廃棄物ゼロ」を推進していきます。

食品ロスを削減するために

品質には問題はないものの、自社の出荷基準日を過ぎたため、販売できなかった商品が出た場合は、一部をフードバンクの活動実施団体や、児童福祉施設「子どもシェルター」に寄贈しています。また、トーホーストア六甲道駅前店では、家庭で余っている食品や消費する予定がない食品を店にお持ちいただき、NPO法人を通じてそれを必要としている方々に寄付するフードドライブを2018年8月より実施しています。2018年度は162アイテム、52kgの食品を多くのお客様よりいただき、NPO法人を通じて寄付をしました。

トーホーストアのフードドライブの流れ



フードドライブを通したNPO法人への食品寄付の様子

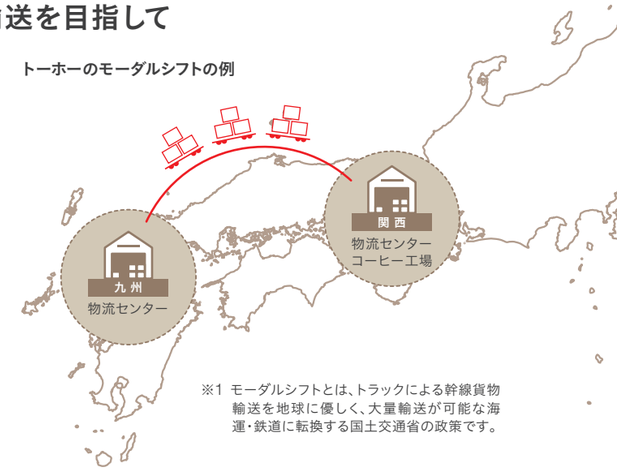
環境に優しい輸送を目指して

(株)トーホー マーケティング本部では、在庫コントロールのため物流センター間で商品の移動を行っています。以前の輸送手段は、トラック輸送が主体でしたが、効率化や環境への影響を考慮して、2017年から鉄道を利用したモーダルシフト※1の取組みを開始しました。

2018年度のモーダルシフトの活用によるCO_2削減は、地震や豪雨などの自然災害によりコンテナの運行が停止し、トラック配送を行ったため、モーダルシフトの取組みでのCO_2削減量は16.3t-CO_2となりました。

引き続き、環境に配慮した輸送手段の検討を行い、CO_2削減を推進します。

トーホーのモーダルシフトの例

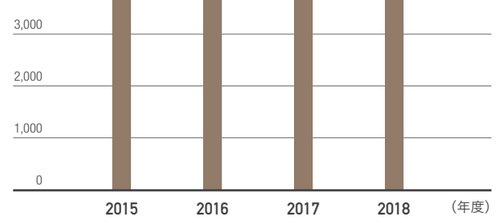


※1 モーダルシフトとは、トラックによる幹線貨物輸送を地球に優しく、大量輸送が可能な海運・鉄道に転換する国土交通省の政策です。

CO_2削減と業務効率化を目指して

トーホーグループでは、配送業務で車両を使うグループ会社が多いため、グループ横断的委員会組織「交通安全推進委員会」を設置しています。特に交通安全の推進や車両の点検を徹底し、配送の際のCO_2削減を行うための省エネ運転など「エコ安全ドライブ」を推進しています。また、(株)トーホーフードサービスでは、特定エリアをチームで配送する「チームワーク配送」を2017年度から実施し効率的な配送を行った結果、前年に比べ車両台数が増えましたが、CO_2の排出量は前年より削減しました。

車両からのCO_2排出量

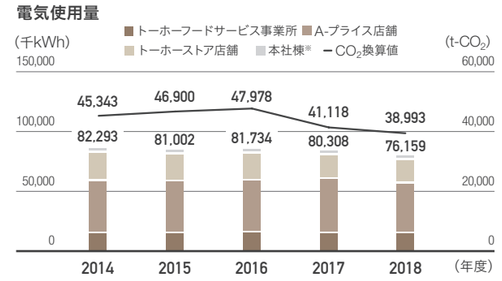


電気使用量の削減

(株)トーホーキャッシュアンドキャリーでは、2018年度に計画的な出店・移転・改装を計11店舗実施し、省エネ型の冷凍・冷蔵ショーケースの入れ替えを推進することにより約22%の電気使用量を削減しました。

引き続き、環境配慮型のシステム導入などを検討し、グループ全体で電気使用量の削減を行います。

電気使用量



業務効率化によるペーパーレス推進

(株)トーホーの物流担当ロジスティクスグループでは、ファックスなど紙を使用した業務をデジタル化へ移行するため、新しいシステムを導入しました。それにより、作業効率だけでなく、昨年に比べ約6万枚ものコピー用紙の削減を行い、ペーパーレスを推進しました。グループ全体でも、ペーパーレス推進のため、社内申請のWeb化を推進しています。